

応用化学科における教育ポリシー

アドミッション・ポリシー 入学者受入れの方針

1. 化学を中心とする理科および数学について、高校卒業程度の知識を持ち、それらの内容を理解している。
2. 広い教養と柔軟な発想が重要であることを認識し、多面的かつ論理的に物事を考える素養がある。
3. 自然科学全般に興味を持ち、特に化学に深い探求心を持って持続的に学習する意欲がある。
4. 社会に対して関心を持ち、責任感を持って社会活動を行い、将来化学関連の分野で貢献したいと考えている。
5. 書き手や話し手の真意を理解し、効果的に情報や考えを表現できる。

カリキュラム・ポリシー 教育課程編成・実施の方針

1. 幅広い視点と多面的思考力を身につけ、自己認識を持続的に深めるための基盤となる能力や科学技術者の持つべき倫理を身につけるための科目を「一般科目」として配置する。
2. 書き手や話し手の真意を把握する力、考えをまとめて論理的かつ効果的に表現する「書く」、「話す」力、さらに科学的内容を中心に、英語で学び、情報や意見を伝えるための基盤となる能力を身につけるための科目を配置する。
3. 数学、物理学、化学、生物学や工学、情報技術の基盤的知識や概念を学び、これらを応用する力を身につけるための科目を「基礎科目」として配置する。
4. 目標を設定し、協同して論理的な計画を立て、実行し、報告としてまとめる体験をし、これらを遂行する能力を修得するための実験・実習科目を配置する。目標への到達に関わる多様な要素を想定し、それらを勘案の上で目標達成法を見つけ出す能力を身につけるための科目を配置する。
5. 化学を基軸として物理学や生物学の関連分野の知識や概念を学び、今後の自然科学や関連技術の発展の中で、生涯にわたり学び続けることができる基盤を身につけるための科目を「専門科目」として配置する。自然真理の探求や技術の創出などの経験を身につけるための実践科目として「卒業研究」を配置する。

ディプロマ・ポリシー 学位授与の方針

1. 地球的視点からの社会観をもとに多面的思考ができ、自己啓発するための素養や、化学を中心とする理学や工学の基盤的知識、概念を身につけている。
2. 自然現象を化学的に捉えることができる化学観を持っている。
3. 自ら課題を発見してその解決を図るために、関連要素を勘案しなから解決法を論理的に立案、実行し、取りまとめる経験、さらにこれらを他者と協同して行う経験を有している。
4. 化学を中心とする知識や倫理、社会に持続的に関心を持ち、社会に貢献しようとする意欲を持っている。
5. 科学技術と社会や自然との相互関係を理解し、科学を学ぶ者として持つべき倫理、社会に対する責任感を持って社会活動ができる。
6. 書き手や話し手の真意を把握し、論理的かつ効果的に情報を伝え、自分の考えを表現できる。さらに科学的内容を中心に、英語で学び、情報や意見を相手に伝えることができる能力の基盤を身につけている。